

2019年5月吉日

各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事 田中・大塚・吉田・杉田・滝澤・野村

JARIP 研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本保険・年金リスク学会（JARIP）の研究会を下記のとおり開催しますので、各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研究会の概要

講演題目：「何が効果的な在宅介護サービスなのか？ サービス組み合わせの効果分析」

日時：2019年7月4日（木曜日） 開始：15:00、 終了：17:30

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館 903教室

早稲田大学へのアクセスはこちらをご参考にしてください

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

早稲田大学のキャンパスマップはこちらです

<https://waseda.app.box.com/s/ctvnsi6nckz4yk9kkrch64av0od0ai9t>

講師：菅原慎矢氏（東京理科大学経営学部、講師）

（講師略歴は次項）

講演概要：

本研究は、複数の在宅介護サービスの組み合わせ利用が、健康状態に与える効果を分析する。高価な施設介護サービスの代替として、在宅介護サービスへの注目が先進諸国で高まっている。在宅介護は小規模で補完的なサービス群として提供されるため、これらの組み合わせの効果を分析する必要がある。しかし、組み合わせ数の高次元性が、統計分析を困難にしている。本研究では、利用者が一定数いる組み合わせをバスケット分析によって抽出し、それらに特化した回帰分析を行うことで、この問題に対処する。この手法を日本の介護レセプトデータに適用したところ、14サービスの組み合わせの中から、在宅介護サービス利用者のうち0.03%が利用しているものは200種類に絞られることが判明した。この中で、特に効果があるのは、介護保険における医療系サービス、特にリハビリ系サービスの含まれる組み合わせであった。さらに、こうした効果的なサービスは、地域間で立地に隔たりがあり、地方ではアクセスできないケースが多いことが問題であることが示された。

2. 参加費

無料

3. 参加申し込み

期日:2019年6月20日(木)

下記【専用申込フォーム】より申し込みください。

【専用申込フォーム】：<https://fs222.formasp.jp/c442/form6/>

4. 講師略歴

2012年東京大学経済学研究科単位取得退学, 2013-14年東京大学経済学研究科助教,
2015-2016年東京大学情報理工学系研究科特任助教, 2017年より現職。専門は計量経済学・機械学習・医療経済学

5. 共催 早稲田大学 大学院会計研究科、産業経営研究所